

ぼくの家の田んぼ

北陽小学校二年

新宮

岬天

ぼくの家には田んぼがあります。去年ぼくは初めて田んぼにはだしで、手で稲をうえてみました。籾稲にどるとたねを入ると芽が出ます。みんなはこれを苗と言っています。でも田んぼにいれるとみんなは稲と言います。よびかがあるのは不思議でした。田んぼに入る足ゆびの間までどろが入ってきても、ニュームニュームして笑いが止まりませんでした。足がへんな感じがしました。田植えがおわるとおばあちゃんが畑で作った野菜も合わせ、こべりベキニをするのが、ぼくの家です。ぼくは自分の家で前の年に出来たお米でおにぎりを作るかかりです。この時に食べるおにぎりはすごくおいしいです。

稲がそだつ間、おばあさんは、しょうぶくしたり、毎日のかんりをしていきます。稲刈りがおわると今まで稲とよんでいたものが、ワラになります。このワラをつかって、ぼく

の家ではおばあちゃんがしめなわを作ります。
家のかみさまのおまつりの時に使います。ぼ
くも作ってみました。右手と左手とねじりな
がら作るけど、全ぜん上手く出来ませんでし
た。

お母さんは、ぼくがご飯を食べている時に
ご飯つぶがのこっているとおこります。

さいきんは田んぼをやめていく人が多いら
しいです。島根の大人のみんなに、もっと田
んぼをつづけてほしいです。ぼくには、こう
けいしとかってむずかしくて分らないけ
ど、たくさん田んぼがあれば、ホタルだっ
て、もっとすみやすい町になるのにな。